

報 告 書

(西 川 班)

開 催 日 時	令和元年 5 月 15 日 (水) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	弥栄会館	
出 席 議 員	川神 裕司 議長、澁谷 幹雄、西田 清久、岡本 正友、 飛野 弘二、西川 真午	
	司会者	西川 真午
	予算報告者	岡本 正友
	ファシリテーター	澁谷 幹雄
	記録者	飛野 弘二、西川 真午
参 加 人 数	30 人	
主な要望・提言等	<p>テーマ 1 (有害鳥獣対策と草刈り人材対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵 (メッシュ) は、効果はあるが管理が難しい。美都町でやっているフェンス設置を検討してほしい。 ・食用にならない不要個体の焼却炉が必要 ・ジビエは素晴らしい。もっと宣伝と加工技術で産業にし、都心からも担い手を引き寄せる魅力がある。 ・食用以外の部位は飼料や肥料に加工すべき。 ・高齢化のため免許の更新を諦めた。 ・人里へ降ろさない。慣れたら奥には帰らない。 ・高齢、過疎で集落の世帯が著しく減少して草刈人材がいない。 ・人がいないので草刈が出来ない。もう業者に依頼するか除草剤を使うか、面積を減らすしかない。 ・学生との交流活動で草刈をしているが土日の活動となるが交通便がなくて困っている。地域公共交通が利用できるよう検討してほしい。 ・集落の人が 9 人減り 3 人になった。シルバー人材センターも夏場は来てくれないので困っている。 ・草刈を「仕事」としてできないか。 ・人材不足に対応するには草刈の機械化が必要。 ・有害鳥獣対策で設備の一部助成はあるが、設置管理の人手が無くて大変。 ・米価が上がらないので気力が上がらない。 ・草刈については集落頼みであるが、もう数年したらできなくなる。 ・シルバー人材センターに人材が不足している。 ・刈草の活用を検討すべき。 	

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クマ捕獲後安易に保護しないでほしい。何回も危ない目に合っている。 ・狩猟免許の更新が難しい。もっと簡素化を。 ・狩猟免許の更新、検査など手続きの日時は若い勤め人の便宜を図ってほしい。 ・センチピードグラスの植え付けは効果的だ。将来のためにも普及に力を入れてほしい。 ・技能実習生の住居を確保して欲しい。 ・有害鳥獣問題は風力発電の影響もある。 ・伐採後の植栽費用に森林環境税を振り分けて欲しい。 ・弥栄町全体を重要景観地区に指定して、住民と一緒に全体の景観を管理する。 ・草刈講習会を託児所付き、草刈デモ機付きで開催して欲しい。 ・道路の草刈だけでなく、イノシシが掘り起こした土砂の処理が必要。
	<p>テーマ2（地域リーダーの育成と後継者対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常会を開いても高齢で役員になり手がない。 ・よそから来たリーダーは出てしまう。将来残るためには、小、中学校からの「ふるさと郷育」が大事。 ・地域リーダーの地域とは、どこを指すのか。また、農業の後継者の場合、親の目が光っている間は、いやいや農業を継いでいるだけ。これが現状だ。 ・一人で受け持つことが多過ぎるので、補助金が欲しい。 ・今日、若いのを連れてきました。 ・公民館が本当に人づくりを担えるか？ ・生産物の価格補償について再考しないと、大半の農家の後継者はいなくなる。

<p>主な要望・提言等</p>	<p>【その他要望・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興基金是非とも残してほしい。 ・地域協議会はたった 15 名と少ない構成だが、このメンバーで地域の課題など決めてもいいのか。 ・今回初めて出席したが、大変良い企画だ。やはり、議員は現場に出向いて生の意見を聞くべきだ。 ・旧浜田市と旧那賀郡の住民に温度差があるので、自治区制度の行方が心配。 ・中山間地域の公益的機能（水源かん養等）を理解（存在意義） ・公民館のコミュニティセンター化が地区制度廃止の代替のような話であるが大変難しい。 ・浜田市は海の事には本気だが、山の事には本気でない。 ・風力発電について再考が必要。 ・自治区制度の弊害で合併による効率化が進んでいない。公共施設の再編などのあらゆることにスピード感が欠けている。
-----------------	---

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 5 月 22 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

西川 班

代表者 西川 真午